



2020 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 中 村 超 硬
代 表 社 名 代表取締役社長 井 上 誠
(コード番号：6166 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 藤 井 秀 亮
(TEL：072-274-1072)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時	2020 年 11 月 16 日 10:30～11:30
開催方法	対面による実開催
開催場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 8 番 1 号 KDD I 大手町ビル 2 階 KDD I ホール
説明会資料名	2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以 上

2021年3月期第2四半期 決算説明

株式会社中村超硬
(証券コード) 6166

業 績 報 告

連結PLサマリー(前年同期比)



(単位：百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前年同期 増減額
売上高	1,478	1,375	△103
営業利益 (損失△)	△453	△49	404
経常利益 (損失△)	△574	△52	522
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (純損失△)	△931	△153	777

売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	前年同期比
電子材料スライス周辺事業	431	1	△99.7%
特殊精密機器事業	422	381	△9.8%
化学繊維用紡糸ノズル事業	613	988	61.2%
マテリアルサイエンス事業	4	3	△23.5%
合 計	1,478	1,375	△7.0%

営業利益 (損失△)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	前年同期比
電子材料スライス周辺事業	△505	△188	-
特殊精密機器事業	60	20	△65.4%
化学繊維用紡糸ノズル事業	87	174	100.0%
マテリアルサイエンス事業	△57	△76	-
合 計	△453	△49	-

貸借対照表（連結）



（単位：百万円）

	2020年 3月期	2021年 3月期（2Q）	前期末比 増減額
流動資産	5,236	4,812	△423
固定資産	1,241	1,247	5
資産合計	6,478	6,060	△418
流動負債	3,050	2,822	△228
固定負債	2,904	2,874	△29
純資産	523	362	△160
負債・純資産合計	6,478	6,060	△418

主な 要因

資産の減少要因：借入金返済による現預金の減少

負債の減少要因：借入金の減少・前受金の増加

純資産の減少要因：損失の計上による利益剰余金の減少

キャッシュ・フロー計算書（連結）



（単位：百万円）

	2020年 3月期(2Q)	2021年 3月期(2Q)	ポイント
営業活動による キャッシュ・フロー	△17	612	前受金の増加：821 仕入債務の増加：312 たな卸資産の増加：△300
投資活動による キャッシュ・フロー	△102	321	定期預金の払戻：443 有形固定資産取得：△47
財務活動による キャッシュ・フロー	△131	△1,383	借入金返済：△1,366
現金及び現金同等物の 増減額	△268	△453	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,008	3,341	

2021年3月期第2四半期 セグメント別状況報告

電子材料スライス周辺事業

ダイヤモンドワイヤ関連

特殊精密機器事業

耐摩耗部品
実装機用ノズル
マイクロリアクター装置
自動ノズル洗浄装置

化学繊維紡糸ノズル事業

連結子会社／日本ノズル株式会社

化学繊維用紡糸ノズル
不織布用ノズル・装置

ダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡案件

渡航制限により中断状態となっていたが、
2020年9月より中国へ渡航を再開
同月下旬より現地作業を再開

第3四半期以降の収益計上予定

売上

1百万円（前年同期比△99.7%）

営業利益

△**188**百万円（前年同期△505百万円）

産業機械向け
実装機用ノズル

「5G」関連分野
需要の高まり

好調に推移

工作機械向け耐摩工具

新型コロナの影響
厳しい事業環境

低調に推移

売上

381百万円（前年同期比△9.8%）

営業利益

20百万円（前年同期比 △65.4%）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による
世界的なマスク需要の高まり



不織布関連ノズル等の売上が好調に推移

売 上

988百万円（前年同期比 +61.2%）

営業利益

174百万円（前年同期比 +100.0%）

2021年3月期第2四半期 業績見通しについて

重要項目の
進捗状況

ダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡案件

江蘇三超社の働きかけもあり、特別の入国許可により

9月下旬より現地工場での作業開始
現在 作業進行中



残設備の引渡し及び収益計上(総額14億円)は
第3四半期以降の見通し

重要項目の
進捗状況

化学繊維用紡糸ノズル事業の受注状況

不織布関連分野の受注が依然として好調

当第2四半期末時点 **25億円超**の受注残
(来期以降の売上予定分も含む)

一方で

海外での不織布製造装置
案件において
一定の作業環境リスク

複数かつ大型の
不織布関連製品の
並行製作による検収リスク

当期業績の中核
となる重要項目

- ・ダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡案件
- ・化学繊維用紡糸ノズル事業の受注状況

重要項目についてはいずれも進捗はあるものの、
前回予想の前提条件から大幅な変更なし



当期業績見通しについては、下記数値のまま据え置き

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2021年3月期 通期予想	3,350	300	200	700

業績達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります

新規事業

ナノゼオライト関連の進捗状況

ゼオールAg+マスクの販売開始

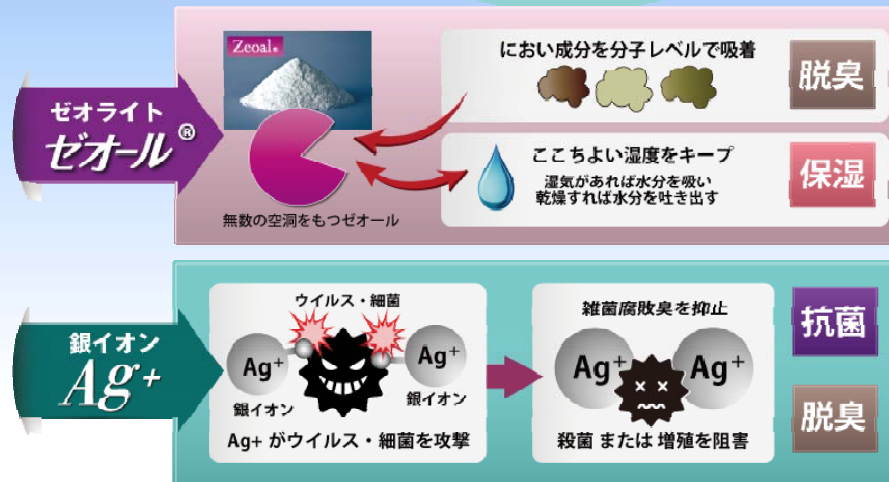
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下
当社のナノサイズゼオライトの開発成果を応用

販売開始 2020年9月

ゼオライトと銀イオンで
抗菌 脱臭 保湿

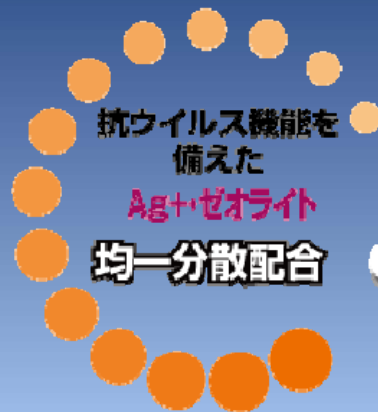


ゼオール[®]Ag⁺マスク



ゼオールAg+ガウンの販売開始

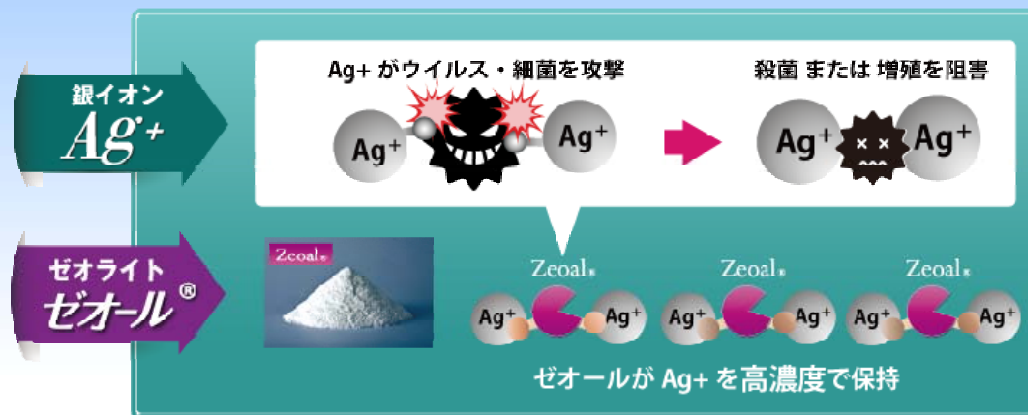
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下
当社のナノサイズゼオライトの開発成果を応用



販売開始 2020年10月

ゼオール[®]Ag⁺ガウン

感染リスクを低減します



堺市の障害福祉サービス事業所
「社会福祉法人ユウの家」にて製作いただきました

ナノサイズゼオライト事業化を目指した 業務提携に向けた基本合意書締結

当 社

事業化に係る
資金面の負担を軽減

事業化に向けた
取組みを加速



山全社

新規事業分野への参入

地元への企業誘致による
地域社会への貢献

- ・ ナノゼオライト事業化に向けた協業スキームの検討
- ・ ナノゼオライトの生産体制の確立 を検討

2022年3月期の事業化を目指す

特許出願

樹脂組成物及びその成形体である 透明吸湿シート

高機能透明フィルムの実用化に向けた
キーテクノロジーの開発完了



展示会への出展

第11回 高機能フィルム展

会 期 : 2020年12月2日(水)~12月4日(金)

会 場 : 幕張メッセ

当社技術の認知度を高め、新たな顧客開拓に努めてまいります

本資料の取扱いについて

- 本資料に掲載している情報は、株式会社中村超硬（以下、当社）の経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。